

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和2年4月24日（金）10:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：児嶋長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、御案内の時間になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○児嶋総務課長 報道官の児嶋です。

本日は、臨時会議が午後から開催される関係で、ブリーフィングの時間を10時半に移動することになりました。急遽の移動で大変申し訳ございませんでした。

それでは、お手元の広報日程に従いまして、補足説明をさせていただきます。

まずは1番の原子力規制委員会について。

(1) 第4回原子力規制委員会臨時会議。本日24日金曜日の13時30分から開催されます。議題は新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言を踏まえた放射性同位元素等規制法の運用について。こちらは放射性同位元素等規制法に基づき義務付けられている届出等に関しまして、全国が緊急事態宣言の対象地域になっている現状を踏まえた運用の方針について、委員会に諮るものです。

続きまして、その下の(2)の第5回原子力規制委員会につきましては、一昨日の委員会で決定されましたとおり、5月13日に開催予定となっております。議題は調整中です。なお、この13日の委員会ですけれども、現在、規制委員会では一般傍聴の受付を行わないことを含みます新型コロナウイルス感染症対策を5月10日まで実施することとしております。それ以後につきましては、対策を延長する可能性も現時点では否定できないことから、この第5回規制委員会におきます一般傍聴の受付を行うか否かにつきましては、5月11日月曜日に改めて御連絡することとさせていただきます。御承知おきのほう、よろしくお願いいたします。

続きまして、その下の2番、審査会合、会見の関係です。

一番上から参ります。4月27日月曜日、(1)第2回経年劣化管理に係るATENAとの実務レベルの技術的意見交換会。こちらは森下原子力規制企画課長以下の対応となります。

議題でございますけれども、これは3月6日の第1回意見交換会におきまして、原子力エネルギー協議会(ATENA)より説明のありましたプラント長期停止期間中における保全ガイドライン案につきまして、規制庁から主として質問するなどの意見交換を行うとともに、今、ATENAが作成中のほかのガイドラインの案についても説明を受けるもの

です。

続きまして、その下です。(2) 第 80 回特定原子力施設監視・評価検討会。こちらは議題が 3 つございます。議題の 4 つ目も一応、念のため御説明いたします。

議題の 1 つ目です。これは 3 月 4 日の規制委員会で改定されました中期的リスクの低減目標マップに関しまして、その主な改定事項を踏まえまして東電が作成する工程表につきまして、東京電力より説明を受けるものです。

その下、議題の 2 つ目です。こちらは東京電力が今、策定中の長期保守管理計画に関しまして、3 月 16 日の検討会のコメント回答を受けるものです。

その次です。議題の 3 つ目になります。こちらは 3 号機の使用済燃料プールからの燃料取り出し作業に関しまして、今後検討している作業についての説明を受けるものです。

議題の 4 つ目、その他となっておりますが、幾つか説明を受ける予定となっております。私が今、聞いておりますのは、一つは 1、2 号機排気筒の解体作業の進捗状況。また、昨年発生した法令報告事象への対応状況。そのほかですと、1、2 号機排気筒近くの配管、SGTS 配管の撤去状況。あと、福島第一原子力発電所における新型コロナウイルス対策の実施状況などについても説明を受ける予定と聞いております。

1F 検討会の関係は以上となります。

1 枚おめくりいただいて、2 ページをお願いいたします。一番上から参ります。(3) 3 9 回東海再処理施設安全監視チーム会合。こちらは日本原子力研究開発機構 (JAEA) の東海再処理施設の廃止措置計画に関しまして、津波対策に関する 3 月 11 日の会合のコメント回答を受けるとともに、地震対策についての全体的な方針についても説明を受けるものです。

続きまして、その下です。4 月 28 日火曜日、(4) 第 349 回核燃料施設等の新規制基準適合性に係る審査会合。こちらは日本原燃 MOX 燃料加工施設の事業変更許可に関しまして、引き続きまとめ資料の確認を行うものです。

その下になります。(5) 第 858 回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合。こちらは主に 2 つのプラントが議題になっております。1 つ目は中国電力島根原子力発電所 2 号機の設置変更許可に関しまして、格納容器破損防止対策の有効性評価についての昨年 12 月から 2 月にかけての複数の会合でのコメント回答を受けるとともに、燃料破損防止対策の有効性評価について、昨年 10 月 8 日の会合のコメント回答も受けるものです。

もう一つのプラントにつきましては、東京電力柏崎刈羽原子力発電所 7 号機の工事計画認可に関しまして、格納容器の水素濃度計などについての 2 月 4 日の会合のコメント回答を受けるものです。

続きまして、その下です。4 月 30 日木曜日、(6) 第 859 回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合。こちらは山中委員と石渡委員の両委員の合同となります。議題でございますが、関西電力高浜発電所 1 号機、2 号機、3 号機、4 号機の設置変更許可

に関しまして、警報なし津波に係る防潮ゲートについての3月12日の会合のコメント回答を受けるものです。

その下、ここに5月1日金曜日と5月8日金曜日、定例ブリーフィングの予定は記載されておりません。現在のところ、これらの審査会合の予定がはっきりしておりませんので記載していないものです。今後予定が入りましたら、定例ブリーフィングを行うことにつきまして、その旨、連絡をさせていただきます。

私からは以上となります。

<質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

ヨシノさん、お願いします。

○記者 テレビ朝日、ヨシノです。

幾つかあるのですが、4月27日月曜日の経年劣化の意見交換会で、この話合いをする相手、カウンターパートとしてATENAというのはもう確定なのですか。要するに、これからも原子力規制委員会、規制庁はATENAという団体をカウンターパートとし、経年劣化等々いろいろな様々な問題を話し合っていくということに決定なのでしょうか。

○児嶋総務課長 まだ委員会で、全てのことについてATENAをカウンターパートにするというのは決まっていないはずですが。これは飽くまで事務レベルで、技術的意見交換で、カウンターパートたり得るかどうかを確かめるという意味も含めての意見交換を始めようという位置付けです。

○記者 それから、その日の監視・評価検討会ですけれども、先週、内閣府があれだけの津波が各サイトを襲うと。千島海溝と日本海溝でしたか。1Fも実態としては、今、11メートルの防潮堤を造っているものを軽々と乗り越えていくということが分かっていて、それについてこの議題に載らないというのはどうしてなのでしょう。

○児嶋総務課長 大変失礼しました。

議題に載っていなかったので私、説明しませんでしたけれども、冒頭で正に内閣府が公表した千島海溝に関する津波の対応につきまして、東電に説明を求めることになっております。

○記者 冒頭というのは、要するに一番最初にやり合うということですね。

○児嶋総務課長 そのとおりです。

○記者 ちなみに、私たち記者が質問をしても、東京電力は情報収集がどうのこうのと言って大体話をごまかすばかりなので、規制委員会、規制庁にそこのところをちゃんと問い詰めることを期待したいと思います。

それから、これは要望なのですが、月曜日に監視・評価検討会があった後というのは、その内容を踏まえて東京電力の会見にみんな行くわけですね。またその後に東海

再処理の津波とか、非常に重要な案件だと思っている人が結構多いと思うのですが、何で固め打ちにするのかがよく分からなくて、重要案件は少しばらけて、今は特に時間的に余力がないわけではないと思うので、その辺はばらけていただけると有り難いなというのが要望です。よろしくをお願いします。

○児嶋総務課長 承りました。

○司会 ほか、ございますでしょうか。

フクオカさん。

○記者 日経新聞のフクオカです。

今日の臨時会議で扱うテーマについてもうちょっと詳しく、どうしてこのコロナと関係するのかというのを教えていただけますでしょうか。

○児嶋総務課長 規制法でも先般の議題で事業者の活動の話がありましたけれども、RI法でも、事業者のほうにつきましてははもろもろの一定の期間とかで実施した上で届出するように求めているものが幾つかございます。また、事業者自身が検査とか確認とかをすように求めているもの、義務がございまして、それにつきましては運用方針を現時点である程度、委員会でお決めいただいたほうがいだろうという話になったものです。

○記者 余韻が大変だから、いろいろな手続を緩めてあげるといえることですか。

○児嶋総務課長 弾力的な運用についてもある程度許されるものかどうかということ、委員会でお決めいただくということになります。

○記者 分かりました。ありがとうございます。

○司会 ほか、ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。

お疲れさまでした。

—了—